

ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業 実績報告

認定NPO法人フローレンス

こどもたちのために、日本を変える
Florence

AGENDA

01. 事業実施内容とスケジュールおよび実施体制
02. 広報
03. 中間支援法人の役割
04. こども食堂等と市区町村との連携支援について

1-1. 事業実施内容

助成事業

- **保育園こども食堂**の実施および保育所と連携した宅食事業・フードパントリー等、**地域の子育て家庭へ食を通じた伴走支援**を行う事業者への資金助成と事業伴走
- 事業者の**要支援家庭対応**サポート（研修・相談）

自主事業

- 保育園および障害児保育園でのこども食堂・フードパントリー
- 全国のひとり親家庭・経済困窮家庭への宅食と伴走支援（SNS相談）
- 医療的ケア児家庭への訪問型宅食

1-1. 事業実施内容

ア 助成事業

助成対象事業者：

- ①食支援（こども食堂・パントリー・宅食）を実施する「保育園」等
- ②「保育園」と連携※して食支援事業を実施する地域の団体



なぜ「保育園」なのか

- 子育ての悩み相談ができる（保育士／栄養士）
- 子どもにとって安全で楽しい環境
- 保育園という安心感（団体としての信用）
- アクセスしやすい（保育所等は全国に4万箇所）
- 衛生面をクリアした調理設備

普段は子どもと家で2人きり。
近所の保育園で子連れて
食事ができるなら
ちょっと行ってみようかな…



1-1. 事業実施内容

「保育園」だからこそ、地域の**育児**により寄り添える

子どもが通っている保育園で利用させて頂きました。先生が作ったご飯というので子どももたくさん食べます。家事の負担も軽減されとても助かっています。（女／30～34歳）

子ども食堂では、月齢に合った離乳食を提供してくれ、とても参考になった。 […] 普段双子の赤ちゃんを安心して遊ばせられるところが少ないので、とても助かった。このように地域に、居場所を開放してもらったり、家計の助けにもなる活動があると、子育てを応援してもらっている気がして、安心する。（女／40～44歳）

保育園の職員さんからのお誘いで参加しました が、普段から地域の催しに参加したことがなく、バランスの良い食事の提供はもちろんのこと、未就学児から高校生まで幅広い年齢の方が参加しており人の交流も通じて参加して良かった と思えた。（女／40～44歳）



1-1. 事業実施内容

ア 助成事業

【昨年度助成実績】

全国29都道府県

99事業所

助成総額：1.88億円超

支援者数60,000人超

支援世帯数21,000超

【助成実績】

◎助成団体数：**112**事業所（法人：67※）（27都道府県）

※うち30団体は今年度新規

◎助成総額：**2.17億円**超（参考：助成決定時点2.45億円）

◎こども食堂利用者数：のべ約4,441人

◎パントリー・宅食利用世帯数：約28,500世帯 超（月別ユニーク世帯数の合計）

★支援物品費上限：1世帯あたり1万円/月

→同一家庭に支援を集中させず、より多くの家庭へ支援を届ける

★支援頻度：月1回以上の実施を条件に助成を実施

→継続的に見守れるように接点を作り続ける



1-1. 事業実施内容（自主事業）

イ 自主事業

保育園11園
障害児施設1園
計12施設

おやこよりそい
チャット※
利用者

※ひとり親家庭や生活困窮家庭等
を含む子育て世帯とつながってい
るSNS相談事業



食堂、フードパントリー、宅食
3形態



地域の**孤独な育児家庭**が頼ることができ
保護者がリフレッシュできる居場所を提供。



外出の難しい**医療的ケア児**家庭も、
訪問宅食で支援。



要支援家庭には、
社内ソーシャルワークチーム がサポート。
行政につなぐなど他機関と連携。



SNSを利用し、全国への宅食と**相談支援**を
組み合わせた事業を実施。

1-1. 事業実施内容（自主事業）

イ 自主事業

保育園・障害児施設@東京

実施園数

10園

のべ実施回数

64回

食堂

のべ支援者数

219人

ユニーク
支援世帯数

45世帯

パントリー

ユニーク
支援世帯数

450世帯

宅食

ユニーク
支援世帯数

81世帯

総支援物品費

5,804,590円

スタッフコメント

食堂はもちろんのこと、接点が短くなりがちなパントリーでも、ご家庭と関係性を深めるために様々な工夫をしてきました。その結果、**食支援が終わっても、継続的な支援が必要なご家庭には別のサービスにつなげることができます。**

利用者コメント

子どもが発達障害のため受けとりの際にお礼もできずに申し訳なく思っているのですが、普段食べないようなものにも出会えるので喜びいっぱいです。幸せそうに食べています。

子どもとゆっくりした夕食を食べる時間が過ごせました。いつも夫が遅く子どもと3人でバタバタしているので、心にゆとりがもてる大変貴重な時間を過ごせました。

温かい雰囲気の中でこのようなご支援を受けることができ、とても嬉しいです。ひとり親で日々の生活に必死の中で、大変助かります。

1-1. 事業実施内容（自主事業）

イ 自主事業

保育園・障害児支援@仙台

実施園数

2園

のべ実施回数

8回

食堂

のべ支援者数

136人

のべ支援世帯数

30世帯

パントリー

—

実施なし

宅食

ユニーク
支援世帯数

42世帯

総支援物品費

289,915円

スタッフコメント

(こども食堂) 保育園を地域にひらき、困難を抱える家庭を含むたくさんの家庭に参加いただきました。地域のボランティアさんや店舗からのご協力もあり、地域全体でこどもたちを見守る・支える仕組みを作れたと思っています。

(宅食) 日々のケアに追われる医療的ケア児を育てるご家庭への訪問して支援を届けました。食料品の選定は地元のスーパーにご協力いただきました。利用者からは配達時にお話できることも楽しみと言っていただき、食をきっかけとした支援を行うことができました。

利用者コメント

(こども食堂) 保育園で同年代のこどもが集まっていて、こどもたちにとって良い経験になりました。好き嫌いが激しいのですが、今日は沢山食べてくれました！

(宅食) 時短になるものや保存できるものばかりでとても参考になります。目も手も離せないので、容易に買物や調理に手間をかけられない日々の中で大助かりです。

1-1. 事業実施内容（自主事業）

イ 自主事業

おやこよりそいチャット※

※ひとり親家庭や生活困窮家庭等を含む子育て世帯とつながっているSNS相談事業

実施園数

—

のべ実施回数

3回

食堂

—

実施なし

パントリー

のべ支援世帯数

281世帯

宅食

のべ支援世帯数

251世帯

総支援物品費

2,323,917円

スタッフコメント

SNS相談事業の中で、物価高騰の煽りを受けて経済的な困難を抱えながら子育てをしている家庭からのSOSが多く届いている。こうしたご家庭は、経済的な面意外にも様々な課題を抱えているケースも多い。今回のように食料支援が実施できると、それをきっかけにして、家庭のニーズや状況を拾い上げ、SNS相談や必要な支援につないでいくことができる。

利用者コメント

物価高の為、必要な食品しかなかなか買えない状況で、母も子もすごく嬉しかったです。

給料は上がらない中、本当に野菜もお魚も高くて、栄養に不安を感じている中、こんな素敵なお贈り物を、本当にありがとうございます。

美味しい家族で食べられる物でうれしかったです。賞味期限も先でゆっくり楽しめるのも良かったです。

1-2. スケジュール

ア 助成事業

公募・周知
募集期間
7/1～7/10

助成事業者の
食支援事業
(～1月末)

説明会(7/2)

審査・
選考委員会
(～8月末)

対象事業者
決定・公表
(7月末～8月末)

中間報告審査・
計画変更相談

団体向け研修①

団体向け研修②

団体向け研修③

LP公開

意見交換会

団体訪問

事例記事発信

助成事業者最終実績報告・審査
各助成団体への助成額確定(～3月末)

イ 自主事業

令和6年

6月
7月

8月

9月

10月

11月

12月

令和7年

1月
2月
3月

保育園
こども食堂

・
パントリー

・
訪問型宅食

・
配送型宅食

(6月末～
1月末)

1-3. 実施体制

PJオーナー K	全体PM O	PMO A	経理・法務 T.M、M 他1名	広報 T.A	システム Y・K
・全体企画/進捗/予算管理 ・こども家庭庁窓口					・申請フォーム ・実績報告フォーム ・サイト作成/更新

助成事業

オーナー K	・統括責任者
PM N	・計画策定 & 進捗管理 ・助成予算管理 ・助成要綱 & 審査基準作成
PMO Y	・審査周りシステム ・審査(事業計画・経費) ・事業者相談対応
審査・事業伴走 A 他8名	・審査 ・団体事務補助
要支援家庭対応 H 他5名	・要支援家庭対応支援 ・研修

自主事業

保育園こども食堂 オーナー K	・統括責任者
PM I	・計画策定 ・企画 ・予算管理 ・進捗管理
食堂・パン トリー運営 園長等40名	・人員調整 ・食材調達 ・利用者募集 ・当日運営
園支援 H 他2名	・要支援家庭対応支援
仙台保育園こども食堂等 オーナー F	・統括責任者
PM S	・計画策定 ・企画 ・予算管理 ・進捗管理
食堂運営 園長 他	・人員調整 ・食材調達 ・利用者募集 ・当日運営
医ケア児宅食 S 他	・利用調整 ・宅食(家庭訪問)
宅食(OYC) オーナー K	・統括責任者
PM T	・計画策定 ・企画 ・予算管理 ・進捗管理
宅食運営 N・T	・利用者調整 ・配送手配

1・3. 実施体制

弊団体のつよみ

幅広い人材・部署で、食支援にとどまらない**包括的な親子への支援を**、全国の助成団体へ届けることができる。

- 自団体の保育園食堂のノウハウを活用し、事業開始準備や計画策定のアドバイス**
- 自治体連携の経験を活かし、事業開始に伴う自治体へのアプローチ方法をアドバイス**
- 自団体のソーシャルワーカーによる、要支援家庭対応を研修でサポート**

2. 広報

保育業界やその他のネットワークを活用し、全国各地から団体を募集。

社外の周知依頼先

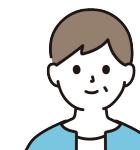
- ・全国小規模保育協議会
- ・日本保育協会
- ・連携推進法人あたらしい保育イニシアチブ
- ・保育系人材派遣会社メルマガ
- ・こども食堂ネットワーク

社内ネットワーク

- ・保育園こども食堂助成事業公式LINE
- ・フローレンスHPおよびSNS
- ・助成事業説明会

事業開始前の広報として

- ・事例共有会(全国の自治体へも周知)



3. 中間支援団体としての役割

事業計画～実績報告までワンストップで団体に伴走



- 説明会＆相談会
- 自治体連携支援
- 事業計画相談（LINE）

- オンライン申請
- 申請サポート
- 審査
- 事業計画適正化

- 研修（要支援家庭対応）
- 団体訪問
- 事例共有・意見交換会
- 個別相談（団体LINE）

- 実績報告説明会
- 中間チェック
- 最終報告審査
- アンケート実施

助成団体の募集開始時期には**説明会**と**相談会**を開催。

申請が初めての団体には必ずオンライン個別面談を実施して、これまでの活動の実績と事業計画をヒアリング。オンライン相談会を実施し、申請内容の相談や申請フォームへの入力をZOOMでレクチャーするなど、助成団体の申請業務をサポート。

3. 中間支援団体としての役割

①手続きのオンライン化・LINEの導入



- 事務作業負荷が活動のハードルに
- 活動の実施や実績報告について気軽に相談できる相手がいるといいな

事務手続き簡略化・オンライン化



- ✓ 申請フォーム
- ✓ 実績報告フォーム
- ※必要な項目を埋めればOK
- ※入力漏れ、計算ミスの抑制

LINE相談（事業期間を通じて開設）



- ✓ フォーム入力時のサポート
- ✓ 事業計画策定の相談
- ✓ 研修や情報共有会等の周知
- ※いつでも気軽に相談できる
- ※申請期間に限らず事業実施に関する相談もOK

3. 中間支援団体としての役割

②勉強会・意見交換会の開催



要支援家庭の対応負荷

こども食堂で出会う場合は、在園児家庭と比べると家庭に関して得られる情報が不十分な中で、園としてどこまで支援をしてよいか、判断や対応が難しい・・・

要支援家庭 対応の勉強会

自団体の保育園こども食堂の運営、保育園でのソーシャルワーク実践の経験をもとに、要支援家庭に出会った場合にどのように対応したらよいか、支援が必要なお子さんをどう見つけるか、ノウハウをわかりやすくお伝えしました。

団体同士の 意見交換会

助成団体がそれぞれの活動内容や活動をする中で感じている悩みなどを話し合い、相互に学び、エンカレッジするための機会を提供しました。

3. 中間支援団体としての役割

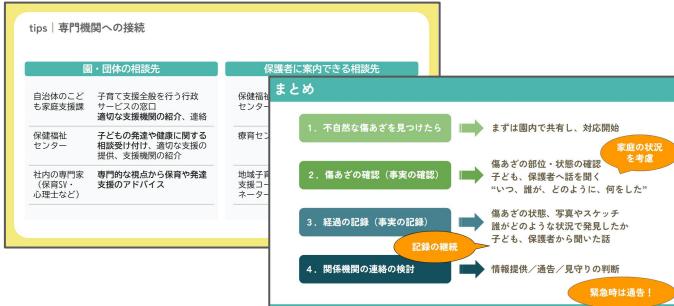
【勉強会概要】要支援家庭への対応を軸として3回の勉強会を開催

日程	タイトル	研修内容
2024 11/12	「こんな時どうする!? 気になるご家庭への対応」	気になるご家庭に出会ったときの対応について、「こどもに不自然な傷やあざを見ついたとき」の事例を取り上げ、 保護者対応や記録の取り方、関係機関との連携方法 などを解説しました
2024 12/18	「セーフガーディング研修 ～こどもの権利を尊重した関わりを考えよう～」	「 こどもの最善の利益 」を中心に捉え、「不適切な関わり」とは何かを学び、それを防ぐために組織としてどうすべきかを考えました
2025 1/27	「こんな時どうする!? 切り替えが苦手な子への関わり」	切り替えが苦手、こだわりが強いお子さんの対応をテーマに、タイプ別の事例や具体的な対応方法を学びました。支援のつなぎ先となる 専門機関 も紹介しました

3. 中間支援団体としての役割

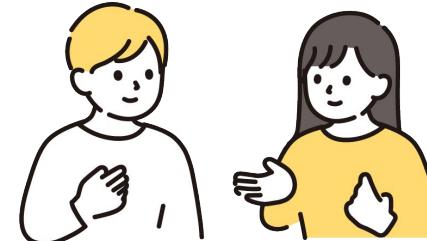
【勉強会概要】実践に活かせるノウハウの提供と団体交流の機会を創出

要支援家庭の対応に活かせる内容



- ・要支援家庭に気づく・出会うための視点についてノウハウをお伝えしました。
- ・また要支援家庭に気づいたとき、必要な支援につなぐことができるよう、**対応フロー**や**具体的な支援のつなぎ先**の紹介を行いました

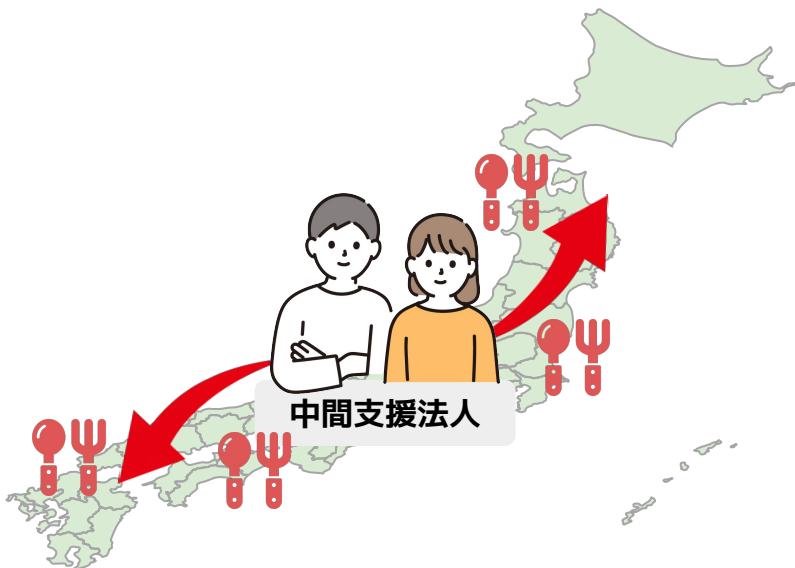
他団体との事例共有・対話会



- ・毎研修で参加団体同士で**対話の時間を設けました。**
- ・意見交換会では、助成団体が集い、日々の活動の中で感じる悩みや事例を紹介し合い、対応について話し合いを行いました。

3. 中間支援団体としての役割

③団体への伴走支援（団体訪問）



- **18都道府県、48施設を訪問**
- 食支援活動の様子を実際に見せていただきながら悩み相談や事務手続きに関する支援、運営オペレーションや制度等に関するノウハウ提供を実施



- 「自分たちの活動に自信が持てた」「オペレーションに悩んでいたが他団体の事例等を共有してもらい、参考になった」の声も
- 好事例について、紹介記事作成し発信

3. 中間支援団体としての役割

④食支援周知やノウハウ拡散を目的とした広報

保育園こども食堂サイト

The screenshot shows the 'Florence' website with a pink header. On the left, there is a sidebar with links: HOME, USER VOICE, CASE, REFERENCE, INFO, and CONTACT. The main content area features two images: one of a man and a woman talking to a child, and another showing hands reaching out. Below these images is a section titled '交流から 支援へつなぐ' (From exchange to support) and another titled '親子の孤立を防ぎたい' (Want to prevent isolation between parents and children). A green button at the bottom right says '助成募集する' (Apply for funding).

(リンク : <https://florence.or.jp/lp/hoikuen-kodomoshokudo/>)

- 「保育園こども食堂」の周知・ノウハウ提供
- 「保育園こども食堂」の特色のほか、好事例の紹介記事やこれまでに実施した勉強会動画等のコンテンツを発信

助成事業サイト

The screenshot shows the 'Florence' website with a yellow header. The top navigation bar includes links for 'よくあるご質問', 'お問い合わせ', 'EN', and '採用情報'. The main content area features a large image of a woman feeding a child, with the text '保育園こども食堂 助成事業' overlaid. Below the image is a section with three people: a woman, a child, and another woman. The text 'ごどらたちのために、日本を愛える Florence' is at the top left.

(リンク : https://florence.or.jp/cp/applyto_hoikuen-kodomoshokudo/)

- 団体が助成事業の申請を検討・応募する際に参考となる情報をまとめ
- 要項の確認や、説明会の開催についてもお知らせ

3. 中間支援団体としての役割

⑤中間実績報告と計画変更相談の実施



- ・ 団体が事業を開始～活動終了するまでの中間地点で、「**中間実績報告**」を実施
- ・ 助成団体が計画通りに事業実施できているかを確認
- ・ 事業開始後の具体的な悩みや不安をキャッチし、相談支援・ノウハウ提供を行う
- ・ 状況に応じてヒアリングや訪問を実施し、計画の見直しを含め適切な資金活用・事業継続をサポート
- ・ 要支援家庭対応について、地域の関係機関との連携状況も確認し、連携できていない団体へは連携を促した

3. 中間支援団体としての役割

⑥利用者・事業者アンケートの実施



利用者・事業者（助成団体）にアンケート調査を実施しました（現在取りまとめ中）

食支援事業の成果を
定量的に把握

事業者の悩みを
可視化



調査結果は後日公開し、全国の食支援を行う団体の活動サポートや
保育園を起点とした食支援事業の実態報告・効果の周知に活かしていきます

4. こども食堂等と市区町村との連携支援について

01. こども食堂開設時の連携支援

- ・自治体から「保育園こども食堂」実施に対して懸念が示された場合等の対応をサポート。（国の通知や先行事例を紹介）
- ・自治体へ実施計画を報告することを要綱に定めて実施を促す
- ・助成申請時および中間報告で自治体との連携状況を確認（未実施のところにプッシュ＆相談）

02. 要支援家庭対応の連携支援

要支援家庭対応研修を実施し、自治体との連携のノウハウをお伝えし、子育て支援課等の要支援家庭対応担当窓口とのスムーズな連携を支援する。

※助成申請時および中間報告で、地域の関係団体との連携状況を確認

保育園等はもともと、自治体の保育園の運営に関する課（保育課）とはつながっている。
しかし、食堂開設や困窮支援等の課との連携は経験がない、という団体も多い。

在園児の家庭の養育困難や困窮等の課題に気づいた際や、支援が必要になった場合、園外に相談先はありますか。

